

原子力規制委員会の
更田豊志委員長の説明は変遷している

これまでの
記者会見での説明
や国会答弁

音声記録を報道後
の26日の国会答弁

資料に基づく議論はしていない。文書指導案は箸にも棒にもかからない案で、比較検討するのは時間の無駄	自分の方針が正しいかどうか確認するため、あえて成案含めず議論することはない
再評価命令案の比較検討	文書指導案と再評価命令案の比較検討
命令文原案の配布について	出席したメンバーが誰も記憶しておらず、私も見た記憶がない
命令文原案に對する修正指示の有無	ここをこう直せと指示を与えることはない。委員の修正は想定していない

更田委員長 釈明に終始

衆院委

原子力規制委 事前会議問題



更田豊志委員長

関西電力に求める火山灰対策を決めた原子力規制委員会による事前会議の音声記録をめぐる、更田豊志委員長は26日の衆院原子力問題調査特別委員会で釈明に迫られた。これまでに関西電力への命令文原案について「記憶がない」と説明していたが、「記憶はないが、(音声記録の)発言はいかにも私の言いそうなこと」などと苦しい答弁を繰り返した。

日吉雄太衆院議員(国民民主党)ら4議員の質問に答弁した。

毎日新聞は2018年12月6日の事前会議の音声記録を入手し、ニュースサイトで公開した。そこには関西電力3原発に求める火山灰対策について、①文書指導で設置変更許可申請を促す(文書指導案)②規制委としての判断を先送りし、関西電力に火山灰想定を再評価を命じる(再評価命令案)を検討し、③案を選択する様子が収められていた。

更田氏はこれまで、「(①案は)箸にも棒にもかからない」「命令文原案を見た記憶はない」と説明していた。しかし音声記録には、更田氏が議論を主導し、配布された命令

2020年3月27日 毎日新聞 朝刊

文原案の書きぶりに注文を付けたり、事細かに修正を指示したりする様子があった。

誤で(規制委が)不利な立場にならないよう考えるのは当然だ」と理解を求めた。

26日の国会答弁で更田氏は「さまざま議論を行う中で、自分の方針が正しいかどうか確認するため、あえていくつかの案を立てて議論することはある」と述べ、従来の見解を交えた。音声記録には、住民から運転差し止め訴訟を起さされるのを避けようとする発言もあった。この点について更田氏は陳謝したうえで、「行政訴

「(事前会議で)意思決定をしていない」とした。3月10日の国会答弁について「虚偽答弁ではないか」と追及された更田氏は、「(事前会議は)自分自身の意見を形成するためのプロセスだった。(意思決定はしていないので)虚偽答弁とは考えていない」と述べた。

【日野行介、田中龍士】